



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 朝日放送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9405 URL <http://asahi.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)脇阪 聡史  
 問合せ先責任者 (役職名)経理局長 (氏名)角田 正人 TEL 06-6458-5321  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	40,245	3.6	1,943	△6.7	2,029	△5.5	1,141	△0.0
25年3月期第2四半期	38,846	2.4	2,083	107.2	2,147	83.7	1,141	104.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,619百万円(85.1%) 25年3月期第2四半期 874百万円(45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	27.94	—
25年3月期第2四半期	27.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	94,255	61,394	61.3
25年3月期	93,986	60,145	60.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 57,759百万円 25年3月期 56,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	7.50	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円50銭 特別配当 3円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,400	2.0	5,300	△7.8	5,400	△7.2	3,000	8.1	73.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規—社(社名)—、除外—社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	41,833,000株	25年3月期	41,833,000株
26年3月期2Q	996,087株	25年3月期	996,087株
26年3月期2Q	40,836,913株	25年3月期2Q	40,836,913株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成26年3月期の個別業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	65,700	1.5	3,900	△8.3	4,100	△6.8	2,500	9.3	61.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要	9
(1) 個別経営成績	9
(2) 個別財政状態	9
(3) 個別売上高の内訳	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から、平成25年9月30日まで)の日本経済は、政府の経済政策や金融政策に対する期待感から円安・株高が進み、国内生産や輸出が徐々に持ち直し、景気回復に明るい兆しが見られました。しかし、広告業界においては、期間後半から主に自動車、通信、金融などの広告需要が増えつつも、大阪地区のテレビスポット広告の出稿量は、ほぼ前年同期並みにとどまりました。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業においては、テレビネットタイム収入やテレビスポット収入が前年同期の実績を上回りましたが、収入に伴い費用も増加した結果、増収減益となりました。ハウジング事業においては、新たな住宅関連施設がオープンし、販促費などの増加で増収減益となりました。ゴルフ事業においては、来場者数が増加したことなどで増収増益となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は402億4千5百万円となり、前年同期に比べて13億9千8百万円(3.6%)の増収となりました。

一方、費用面では売上原価が266億1千5百万円で、前年同期に比べて12億7千6百万円(5.0%)増加しました。販売費及び一般管理費については116億8千5百万円となり、前年同期に比べて2億6千1百万円(2.3%)増加しました。以上の結果、営業利益は19億4千3百万円となり、前年同期に比べて1億3千9百万円(△6.7%)の減益、経常利益は20億2千9百万円で1億1千8百万円(△5.5%)の減益となりました。法人税等を差し引いた結果、四半期純利益は11億4千1百万円となり、前年同期並みの利益となりました。セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

## [放送事業]

当第2四半期連結累計期間における放送事業の売上高は349億6千3百万円となり、前年同期に比べ10億3千4百万円(3.0%)の増収となりました。テレビネットタイム収入や主力のテレビスポット収入の増収に加えて、催物収入が大幅な増収となったことが大きな要因です。一方、営業費用は、ネットタイムやスポットの増収に伴いテレビ番組費や代理店手数料などが増えて、3.7%増加しました。この結果、営業利益は13億9千8百万円となり、前年同期に比べて1億7千4百万円(△11.1%)の減益となりました。

## [ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は47億8千7百万円となり、前年同期に比べ2億9千4百万円(6.6%)の増収となりました。主力事業の住宅展示場運営において、首都圏での新しい住宅展示場(戸塚住宅公園)や新たな住宅関連施設(HDC大阪)がオープンしたことなどにより増収となりました。一方、営業費用は8.0%増加し、営業利益は4億9千2百万円となり、前年同期に比べて2千3百万円(△4.5%)の減益となりました。

## [ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は4億9千4百万円となり、前年同期に比べ6千9百万円(16.3%)の増収となりました。来場者数の増加や、会員権の販売が好調に推移したことが主な要因です。一方、営業費用は売上高の増加に伴い2.9%増加し、営業利益は5千2百万円となり、前年同期に比べ5千8百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億円減少して339億8千4百万円となり、固定資産は6億6千9百万円増加して602億7千万円となりました。資産合計は2億6千8百万円増加して942億5千5百万円となりました。固定資産の増加は、主に保有する投資有価証券の時価が上昇したことなどによるものです。

(負債)

流動負債は6億2千1百万円減少して105億8千1百万円となり、固定負債は3億5千8百万円減少して222億7千9百万円となりました。負債合計は9億8千万円減少して328億6千万円となりました。負債が減少した主な理由は、未払金の支払いやリース料の支払いを行ったことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は12億4千8百万円増加し、613億9千4百万円となりました。四半期純利益11億4千1百万円を計上する一方、剰余金の配当3億6百万円を行いました。また、保有する投資有価証券の時価が上昇したため、その他有価証券評価差額金が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては業績は堅調に推移しましたが、第3四半期以降においては、主力の放送事業でレギュラー番組の強化や新番組開発などにより営業費用が増加する見込みであるため、連結の通期業績につきましては、売上高のみ前回発表予想の通りとし、営業利益、経常利益および当期純利益を下方修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,862	8,647
受取手形及び売掛金	12,439	12,033
有価証券	9,138	10,598
たな卸資産	941	750
その他	2,037	1,998
貸倒引当金	△34	△43
流動資産合計	34,385	33,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,248	20,904
土地	10,252	10,252
その他（純額）	7,424	6,618
有形固定資産合計	38,925	37,775
無形固定資産		
ソフトウェア	332	273
その他	219	195
無形固定資産合計	552	469
投資その他の資産		
投資有価証券	13,546	15,216
その他	6,822	7,052
貸倒引当金	△246	△243
投資その他の資産合計	20,122	22,025
固定資産合計	59,600	60,270
資産合計	93,986	94,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	6,306	5,849
未払法人税等	661	868
引当金	173	109
その他	4,061	3,753
流動負債合計	11,202	10,581
固定負債		
退職給付引当金	11,068	10,954
引当金	14	14
その他	11,555	11,310
固定負債合計	22,638	22,279
負債合計	33,841	32,860
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	46,814	47,649
自己株式	△500	△500
株主資本合計	55,223	56,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,271	1,700
その他の包括利益累計額合計	1,271	1,700
少数株主持分	3,649	3,634
純資産合計	60,145	61,394
負債純資産合計	93,986	94,255



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	38,846	40,245
売上原価	25,339	26,615
売上総利益	13,507	13,629
販売費及び一般管理費	11,424	11,685
営業利益	2,083	1,943
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	87	126
その他	73	46
営業外収益合計	174	190
営業外費用		
支払利息	72	49
固定資産処分損	23	46
その他	14	7
営業外費用合計	109	104
経常利益	2,147	2,029
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
投資有価証券評価損	7	—
投資有価証券売却損	—	9
特別損失合計	7	9
税金等調整前四半期純利益	2,140	2,024
法人税等	904	835
少数株主損益調整前四半期純利益	1,236	1,189
少数株主利益	95	48
四半期純利益	1,141	1,141

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,236	1,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	430
その他の包括利益合計	△361	430
四半期包括利益	874	1,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	779	1,569
少数株主に係る四半期包括利益	95	49

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,929	4,493	424	38,846	—	38,846
セグメント間の 内部売上高又は振替高	166	8	7	182	△182	—
計	34,095	4,501	431	39,029	△182	38,846
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,573	515	△5	2,083	—	2,083

(注)1 調整額△182百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,963	4,787	494	40,245	—	40,245
セグメント間の 内部売上高又は振替高	165	10	9	185	△185	—
計	35,128	4,798	503	40,430	△185	40,245
セグメント利益	1,398	492	52	1,943	—	1,943

(注)1 調整額△185百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

## 4.（参考）四半期財務諸表（個別）の概要

平成26年3月期第2四半期の個別業績（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

## (1) 個別経営成績

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期 第2四半期	32,779	2.9	1,638	4.1	1,834	5.7	1,134	8.2
25年3月期 第2四半期	31,864	2.7	1,574	190.9	1,735	164.3	1,047	196.7

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
26年3月期 第2四半期	75,291	53,802
25年3月期	75,361	52,548

## (3) 個別売上高の内訳

	前第2四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	10,407	10,482	75	0.7
スポット	17,231	17,495	263	1.5
番組販売	1,101	1,163	62	5.6
計	28,740	29,141	401	1.4
ラジオ放送事業収入	1,417	1,418	0	0.1
その他	1,706	2,219	513	30.1
合計	31,864	32,779	915	2.9

(注) 四半期財務諸表（個別）の概要の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。